生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	S 状洞溝における膜構造の形態学的研究		
1. 研究の目的と方法	脳静脈洞は 2 層の硬膜で構成されており、その外周である骨性硬膜と頭蓋骨の間には骨膜がないということが知られています。横静脈洞の外側壁である硬膜は硬く周囲の小脳や大脳半球を包む硬膜との連続が明らかであるのに対し、S 状静脈洞の外側壁は薄く、また S 状静脈洞と連続する頚静脈球を包む静脈壁は骨膜と連続しているものの S 状静脈洞の外側壁である骨性硬膜からの厳密な移行部については明らかになっていません。本研究では横静脈洞から頚静脈球を含む S 状静脈洞周囲、すなわち S 状洞溝における膜構造の形態学的な差異の変遷を解明することを目的としています。 ご遺体を対象として、横静脈洞から頸静脈球までを、隣接する骨を含めて摘出します。続いて組織標本を作製し、顕微鏡を用いて同部位の膜の層構造所見を記録・評価します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	本学に献体された遺体で、頭蓋底疾患の既往歴のない方を対象とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	エタノール・ホルマリン固定した　ご遺体の横静脈洞の上下及び S 状静脈洞の前後から頚静脈球を露出し隣接する骨を含めて切り出したもの	
	(2) 試料の取得の方法	本学に献体されたご遺体から取得します	
	(3) 情報の種類	献体者情報（献体番号、性別、死亡年齢） 剖出写真、組織標本写真	
	(4) 情報の取得の方法	台帳から抜粋した献体情報及び試料の取得による組織標本	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　脳神経外科学講座
		氏名	石川耕平
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　脳神経外科講座　石川耕平	
	(4) 共同で研究	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	を実施する施設とその責任者	
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2025 年 4 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　脳神経外科学講座 研究責任者：助教　石川　耕平（いしかわ　こうへい） 電話番号：03-3433-1111（直通）（内線 3461） 対応時間：平日 09:00　～　16:00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。